



## JBRN大会・総会に参加

国内のユネスコエコパーク登録地  
でつくる「日本ユネスコエコパーク  
ネットワーク(JBRN)」の大会・総  
会は7月17日に延岡市で開催され、  
綾町も参加しました。

大会・総会には、国内10地域のユネ  
スコエコパーク登録地の代表者や実  
務担当者をはじめ、日本ユネスコ国  
内委員会の事務局となっている文部  
科学省の職員や有識者などを含む約  
50人が出席。事務局となっている祖  
母・傾・大崩ユネスコエコパークが、  
昨年度の取り組み報告や令和6年度  
の活動計画を説明しました。

意見交換会では、綾ユネスコエコ  
パークの定期報告が承認されたこと  
について報告しました。さらに、ユネ  
スコエコパークに関する国際動向  
や、若い世代をどのように取り組み  
に巻き込んでいくかといった課題に  
ついて情報共有や議論が行われまし  
た。

翌日には、祖母・傾・大崩ユネスコ  
エコパークの現地視察がありまし  
た。高千穂町の子ども神楽や高千穂  
峡の見学を通し、同じ県内のユネス  
コエコパークの状況を知るととも  
に、関係者同士が現場を見ながら意  
見交換ができるよい機会となりまし



JBRN大会・総会の様子



高千穂峡を見学する参加者

た。  
今年度は、綾ユネスコエコパーク  
内でJBRNの現地ワーキング開催  
を計画しています。引き続き、各ユネ  
スコエコパーク担当者と情報交換を  
密にし、綾ユネスコエコパークの取  
り組みを強化していきたいと考えて  
います。

### 綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館  
休館などの情報はホームページで随時更新します



かつては日本国内でも絶滅に瀕  
するほど少なくなっていた本種。禁猟  
や川の水质改善、エサ資源の増加な  
どにより現在では全国的に個体数  
が増えており、町内の川でも目にす  
る機会が増えています。  
海水と淡水のどちらでも潜って  
エサをとることができるため、海岸  
付近から川沿い、湖や池などさまざ  
まな環境に適応できます。群れをつ  
くって集団で生活する特徴があり、  
時に漁業被害やフンなどの問題が  
生じることも。現在の実状に合わせ  
て、これからの人と生き物との共生  
のあり方を考えさせてくれる鳥で  
もあるのです。

Column  
カワウ